

ビジネス街のランチタイムに、関学大学院の教員と共に学ぶ

無料



ビジネスランチアワー

関西学院大学大阪梅田キャンパスは、大阪で勤務されている多くの社会人に対して、現実のビジネスにある背景、理論、科学的方法を学習し、より適切にビジネスの現実に対処していく方法を学ぶきっかけとなる場を提供したいと考えます。夜遅くまで仕事をされている社会人に、まずは昼食時にビジネスに関するヒントやアイデアをつかんでいただくきっかけを提供します。

● 6月の話題提供 「現場でPDCAサイクルを回転させる方法」 ●



講師: 佐藤 善信 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授

ビジネススクール (BS) の経験は、ダイエーの中内さんが創設した流通科学大学に中内 BS を設立するための責任者として、1993年に米国のバージニア大学ダーデン BS に客員研究員として訪問して以来です。そこでは BS の教育方法についても学習してきました。特に、ケースを利用した教育に力点を置いています。ケースはこれまでに 200 本程度を開発しています。研究のスタイルも「現場と理論との往復運動」を重視したアクション・リサーチをベースにしています。

私は MBA 教育に携わっていますが、いつも思うことは、「良い理論ほど現場に役に立つものはない」ということです。ここでいう「理論」とは、現場の問題から新しい気付きを得て、それを一般化したものを意味しています。経営学やマーケティング論の世界では、そのような現場発の理論や理論フレームが数多く存在します。なんか難しそうだなと、敬遠しないでください。今回は、そんな大そうな「理論構築」ではなく、現場で問題解決しながら、同時に学習できる仕組みを考えてみたいと思います。キーワードは、アクション・リサーチ、アクション・サイエンス、アクション・ラーニングなどです。これらはほぼ同じ内容で使われている用語です。それでは、当日を楽しみにしてください。

■ 日 時: 2009年 6月30日 (火) 12:10~ (受付開始 11:45~)

12:10~12:40 昼食をとりながら、講師から話題の提供

12:40~13:00 参加者とビジネスの懇談

13:00~13:30 時間が可能な方と引き続き懇談

■ 場 所: 関西学院大学大阪梅田キャンパス 14階 1406教室
(〒530-0013 大阪市北区茶屋町 19-19 アプローチタワー14F)

■ 定 員: 30名(先着順) ※座席に限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。

■ 費 用: **無料** ※昼食は当日会場で取っていただいて結構です(昼食は各自ご用意ください)。

■ お申込方法: 下記項目を記入し、電子メールにてお申込ください。定員になり次第締め切ります。

【記入項目】

- ① 氏名(ふりがな) ※卒業生の方は、卒業年度・学部
- ② 〒・ご住所
- ③ TEL
- ④ E-mail アドレス
- ⑤ 勤務先名
- ⑥ テーマに関する講師への質問

■ お申込宛先: E-mail: kghub@kwansei.ac.jp

(お問合せ 関西学院大学大阪梅田キャンパス TEL:06-6485-5611)

【主催】 関西学院大学大阪梅田キャンパス

